

個別学習のセルモ越谷間久里教室 を展開するワイネクスト株式会社

「FLENS School Manager」の導入で業務効率が劇的にアップ

悩みの種だった入退室時の混雑も解消！

「塾業務をスリム化し、塾生保護者をファン化する」を謳いFLENS(株)が開発・運用する学習塾向け「コミュニケーションプラットフォーム」FLENS School Manager(以下、スクールマネージャー)が、塾経営に欠かせない充実した機能とシンプルな操作性が評価され、導入する塾は増えつつある。

埼玉県越谷市で個別学習のセルモ越谷間久里教室(そろばん教室、硬筆教室、ペン習字教室併設)を展開するワイネクスト(株)もその一つ。スクールマネージャーの導入で困りごとは解決し、思いがけず業務の効率化を図れたという。導入後、どのような変化があったのか、臼井優樹代表に詳しい話を伺った。

自分の子どもたちのために
につくった塾

前職ではコンサルタントやビジネスコーチとして企業の営業支援に携わっていました。起業のきっかけは私の子どもが中学生になるタイミングで塾を探した際、これといった塾が見つからなかったこと



ワイネクスト(株) 臼井優樹 代表取締役

す。ないのならつくればいい!と塾を始めました。開校までそれほど時間をかけられなかったことから、FCに絞って探した複数見学した上で現在のセルモに決めました。3人の子どものうちすでに卒業しましたが、現在は講師全員が当塾の卒業生。開校から10年目を迎えました。

最近では計算ができない子が増えてきました。大きなお金を出せば自動的にお釣りが返ってくるため、わざわざ計算はしないと。割引シールが貼ってあっても「いくらかは安くなる」という感覚でしかなく、「元の金額



埼玉県越谷市にあるセルモ越谷間久里教室

を出せば十分足りる」としか考えていないようなのです。また、字を丁寧に書くことの重要性を理解していない子どもも多いように思います。昨今は入試でも記述式の問題が増えてきました。読みつらさからテストで減点されることがあるのは理解しているようですが、それ以上に字はコミュニケーションツールでもあり、あらゆる場面で評価につながるようです。いざという時、信用に関わることもあります。こちらもなんとかしたいと思い、5年前にそろばん教室とペン習字教室を開校しました。

合格実績や偏差値を重視するのではなく、勉強は「教えずに子どもたちが勝手に学んでいく」ということがモットー。子どもたちにとっ

子どもが「嫌にならない程度に」、私が責任を負う形で時にはやるべきことを間引く

の頑張り時にどのように頑張るか、頑張り続けられる気持ちのつくり方などをしっかりと教えるようにしています。「その子にとっての頑張り時」が勉強にはまれば学力は伸びるし、部活なら部活で活躍できるよつになります。

点数アップを謳ってすぐに点数が上がるような指導も可能ですが、それは一時的なもの。学習の仕方や頑張り方、頑張り時の見極め方がわかるといういるものに活用できます。実際、卒業生からは「資格試験に役立った」、「字が綺麗だと褒められるようになった」、ちょっと変わったところだと「将棋が強くなった」という声もありました。子どもたちには「保護者にお金を出してもらう、行かせてもらうよかったです」と感謝し、「得るものがあった」と感じてもらえたら嬉しいし、信頼して預けてくださった保護者には、親の愛情として残るものを提供できた嬉しさと思っています。そして、それを目指しています。

子どもたちには毎回の課題の中にその子の苦手なものを盛り込んで

ています。文章題、計算、字の練習など、教科を超えた課題を課すときもあります。ただ、「嫌にならない程度に」を心がけ、時にはやるべき範囲を間引くこともあります。40点の子に最初から100点を目標させるのではなく、確実に60点取れるように「今はこの問題をしなくて良いよ」と伝えます。もちろん、間引く責任は私自身が負った上でのごです。

時間的な制約があり、一時的にテクニックに頼るところもありますが、それはきちんと知らせた上でのこと。人としての本質、大切なことをその都度きちんと教えています。特に「ケアレスミスは究極に重大なミス」と伝え、しっかりと確認するように指導しています。交通事故も遅刻も、あらゆる重大事故がうつかりか

ら来ています。将来的にも困るのでここが正念場という際には慎重に確認し、しっかりと仕上げるように伝え

ています。

今できている範囲でも数日後に再挑戦するとできないこともありますが、実際に少く時間を空けさせ、できなかった時はざっと復習だけして次に進ませます。それを習慣化する。勉強との向き合い方ややり方を教えていると「今サポートとこれまでの積み重ねがタメになる」と生徒自身が気づき、自ら勉強するようになります。当塾では宿題を出しません。「家で勉強するようになった」と保護者が驚いて知らせてくださいます。



時、見つけたのがスクールマネージャーでした。スクールマネージャーの入退室管理ではQRコードモードがデジ

タル出席簿モードの2種類から選べ、後者なら自分の名前を見つけて押すだけ。カードは一切不要で準備の作業時間や発行コストの削減も期待できました。

悩みの種だった入退室時の混雑が解消され、他の業務負担が減った

スクールマネージャー導入のきっかけは入退室に伴う混雑に悩んでいたことです。当塾では塾部門だけでなくそろばんとペン習字も併設しているため、入れ替わりのタイミングで出入口が大混雑して

ました。一度に20人ずつ、計40人が同時に入退室する上、お迎えの保護者もお待たせする状況。カードやQRコードを読み取る入退室システムでは、そもそもカードはなくすし持つてこない。もっとシンプルな運用に切り替えたいと思っ

最近、アンケートと面談の予約機能が追加されましたが、全てがシステム上で完結するのがありがたいです。使い方はとてもシンプル。保護者側のアプリ設定も難しくないので、設定に関する問い合わせはほぼありません。面談予約はお知らせを送った当日に60%、土日を除くとほぼ100%登録が完了しています。登録は先着順で空き枠を見ながら保護者が自ら選択するよつになっており、塾側での作業はありません。面談前日などにリマイ

ンダーを送る機能は使っていませんが、遅刻もなく皆さん、きちんと来られます。子どもを紹介してお知らせプリントを配布すると通塾バッグの中でぐちゃぐちゃになり、保護者に渡らないケースは多々ありましたから、これは本当に助かっています。



School Manager

製品紹介ページはこちら